

ULT通信

2017. 10. 16号 / vol. 73 発行 / ULT 図書館司書

読書の秋真っ盛り！今回は、先日発表されたノーベル文学賞を特集します。裏面には、新着本も紹介していますが、スペースの都合でほんの少ししか紹介できないので、ぜひ ULT に見に来てください！

ノーベル文学賞って何？

ダイナマイトの発明者である〈アルフレッド・ノーベル〉によってつくられた、いわゆる〈ノーベル賞〉のうちの1つ。彼の遺言によると、「理想的な方向性」の文学作品を生み出したものに与える、とされています。

アルフレッド・ノーベル
1833-1896



日本人は受賞したことあるの？

あります！まず、1968年に〈川端康成〉が受賞しました。そして、1994年に〈大江健三郎〉が受賞しています。100年以上の歴史の中で、日本人受賞者はこの2人だけです。今年受賞した〈カズオ・イシグロ〉は長崎生まれですが、イギリス人です。



川端康成



大江健三郎



3人目は誰だ！

君はノーベル文学賞を知っているか？

受賞すると何がもらえるの？

ULT2 階の『世界大百科事典』によると、賞状、メダルおよび賞金をもらえるそうです。賞金はその年によって異なり、一億円を超えることも多いとか。しかし、ノーベル文学賞を受賞したという事実こそ、その作家にとってお金には変えられない価値があるはず！



村上春樹って候補になってるの？

毎年、この時期になると候補者として騒がれる作家が〈村上春樹〉です。日本のみならず、世界中にファンがいる作家ですが、彼が候補に挙がっているのかは分かりません。なぜならば、候補者は正式には発表されないから。果たして受賞のニュースを聞ける日は来るのか！？

選考会議を始める...

会議風景 (想像)

御意



10月5日に発表された2017年のノーベル文学賞は、英国人作家カズオ・イシグロさんが受賞しました。彼は1954年長崎生まれ。5歳のときに家族と共に渡英。日本とイギリスの2つの文化を背景に育ちました。ULTでは、彼の出世作である『日の名残り』と映画・ドラマ・舞台化された『わたしを離さないで』が読めます。ULT1階の「アツイ本」コーナーで展示中！



『ノーベル文学賞に
もっとも近い作家たち』
青月社編



『わたしを離さないで』『日の名残り』
早川書房

今回参考にさせてもらったのがこの本。2014年出版ですが、今年の受賞者「カズオ・イシグロ」、昨年の受賞者「ボブ・ディラン」が既に紹介されていることに驚き！すごい本です。来年以降の受賞者がこの中にいるかも？

ULT NEWS

●11月はULT読書月間！

毎年11月は読書月間です。今年の特集展示のテーマは〈幕末・明治維新〉。

来年2018年が明治維新150周年ということで、改めて〈明治維新〉について知ろう！いろいろな企画も予定されているので、どうぞ期待です。

新着案内

9月の新着は127点です。一部抜粋で紹介します。

↓知識・教養の本いろいろ。

タイトル	著者	請求記号
ルポランプ王国：もう一つのアメリカに行く（岩波新書 新赤版）	金成隆一	302.53-カナ
おとなになるってどんなこと？（ちくまプリマー新書）	吉本ばなな	159.5-ヨシ
マジ文章書けないんだけど：朝日新聞ベテラン 校閲記者が教える一生モノの文章術	前田安正	816-マエ
パリの国連で夢を食う。（幻冬舎文庫）	川内有緒	329.33-カワ
電通と博報堂は何をしているのか（星海社新書）	中川淳一郎	674.4-ナカ

↓話題の新作、人気シリーズの新刊、映画ノベライズなど。

タイトル	著者	請求記号
劇場 とるとだす	又吉直樹	913.6-マタ
真夜中のパン屋さん：午前5時の朝告鳥（ポプラ文庫）	畠中恵	913.6-ハタ-16
美女と野獣（新潮文庫）	大沼紀子	913.6-オオ-[6]
忍物語	ボーモン夫人	953.6-Be
打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？	西尾維新	913.6-ニシ-23
	岩井俊二原作 大根仁著	913.6-イワ



↓コミック新刊。名作『テルマエ・ロマエ』全巻入りました。

タイトル	著者	請求記号
銀の匙 = Silver Spoon VOLUME14	荒川弘	726.1-アラ-14
ねこねこ日本史 4	そにしけんじ	210.04-ソニ-4
コウノドリ 18（モーニングKC）	鈴木木ユウ	726.1-スス-18
テルマエ・ロマエ 1～6	ヤマザキマリ	726.1-ヤマ-1～6



タイトル	著者	請求記号	備考
表参道のセレブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬	若林正恭	914.6-ワカ	←お笑いコンビオードリーの若林正恭関連。独特の感性に触れてみてください。
ご本、出しときますね？：文筆系トークバラエティ	BSジャパン、若林正恭編	910.264-ワカ	

コラムde11



第73回は笹木が担当です。お題は「私の金字塔」。「読書にはまったきっかけや、影響を受けた本など、濃いコラムを期待」とのことですが、このお題、なかなかどうして難しい…。影響を受けた本や価値観が変わった本はこれまでも書いたし（第39回『コロボックル物語シリーズ』・第24回『人間本性論』ご参照ください）、本がたくさんある家で育って自然と読むようになったので、読書のきっかけは思い当たらないのです。

そんなわけで「金字塔」と言っただけで大げさになってしまうかもしれませんが、こどもの頃お気に入りだった1冊を紹介します。それは、五味太郎作『ぐうぐうぐう』という絵本。海に浮かんだクジラがひたすら寝まくる話で、こちょこちょくすぐられても、ともだちのクジラが寄ってきても、嵐がきても、全然起きない！ 単純なお話だけどユーモアがあって、シンプルな線ときっぱり美しい色の絵、ことばのリズムも楽しくて、大好きでした。この絵本のおかげで、寝ることをこよなく愛する人間になったのかもしれませんが。名作絵本の影響力はすごいですね！ 後に読んだ漫画『キャプテン・ハーロック』の「よく寝る男は大物になる 寸時を惜しんで寝る男こそ真の勇者だ」というセリフにも影響受けましたけど（笑）。

さて、次回のお題は「よく眠れる本」にします。リラックスできて良質な眠りに誘う癒しの本でも、3行読んだら睡魔が襲ってくる難解な本でも。